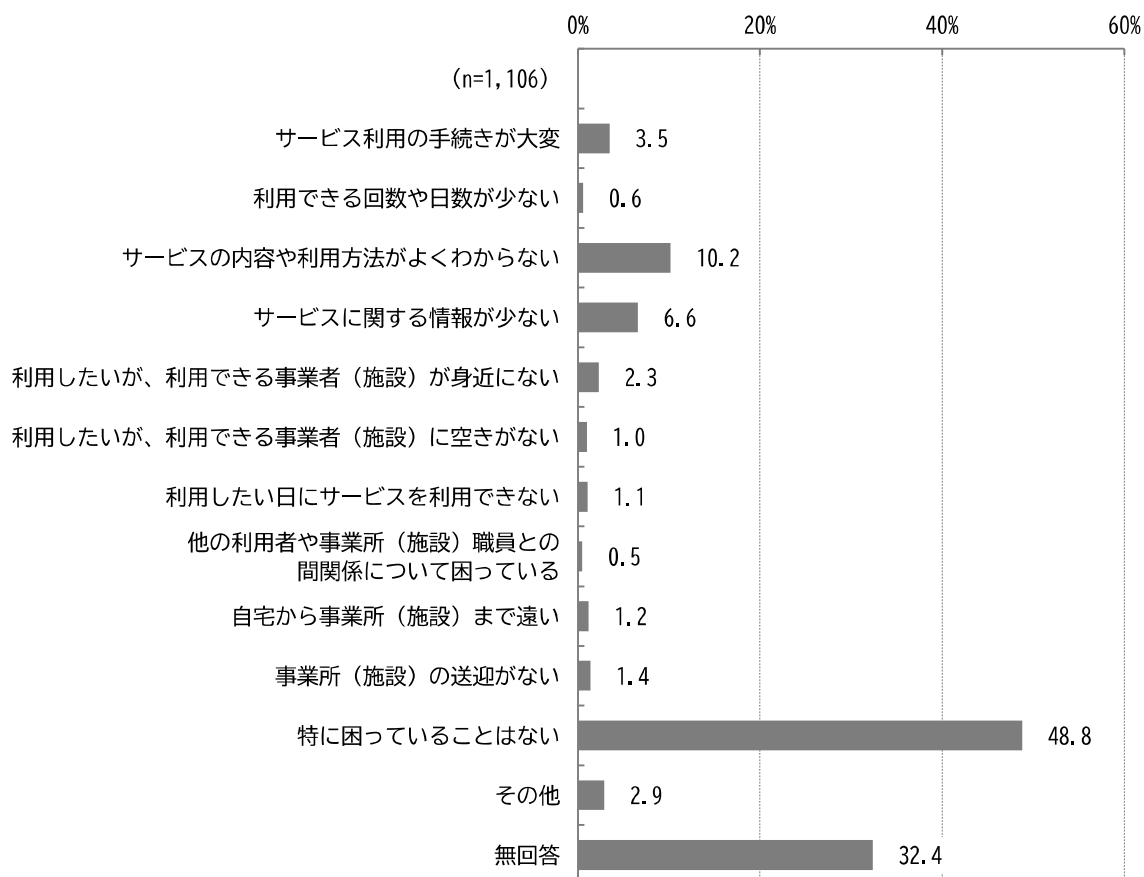


あなたは、問 46 のサービスの利用に関して困っていることはありますか。(○は3つまで)

【18歳以上 問 47】

「サービスの内容や利用方法がよくわからない」が 10.2%と最も多く、次いで「サービスに関する情報が少ない」、「サービス利用の手続きが大変」、「利用したいが、利用できる事業者（施設）が身近にない」、「事業所（施設）の送迎がない」の順となっており、「特に困っていることはない」は 48.8%となっています。



【手帳種別】

困っていることを手帳の種別にみると、いずれも「サービスの内容や利用方法がよくわからない」が多くなっています。

(単位：%)

		回答者数(件)	サービス利用の手続きが大変	利用できる回数や日数が少ない	サービスの内容や利用方法がよくわからない	サービスに関する情報が少ない	利用したいが、利用できる事業者(施設)が身近にない	利用したいが、利用できる事業者(施設)に空きがない	利用したい日にサービスを利用できない	他の利用者や事業者(施設)職員との人間関係について困っている	自宅から事業者(施設)まで遠い	事業者(施設)の送迎がない	特に困っていることはない	その他	無回答
18歳以上	全体	1106	3.5	0.6	10.2	6.6	2.3	1.0	1.1	0.5	1.2	1.4	48.8	2.9	32.4
	身体	754	2.5	0.8	8.9	5.4	1.3	0.9	1.3	0.4	0.8	0.7	48.3	2.9	35.7
	療育	211	6.2	0.5	11.4	9.0	7.6	2.8	3.3	0.5	2.4	4.3	48.3	2.8	25.1
	精神	189	7.4	1.1	19.6	12.7	2.6	0.5	-	2.6	2.1	1.6	48.1	2.1	22.8

あなたは、サービスを利用する事業所を選ぶ際に、どのようなことを重視しますか。(〇は3つまで)

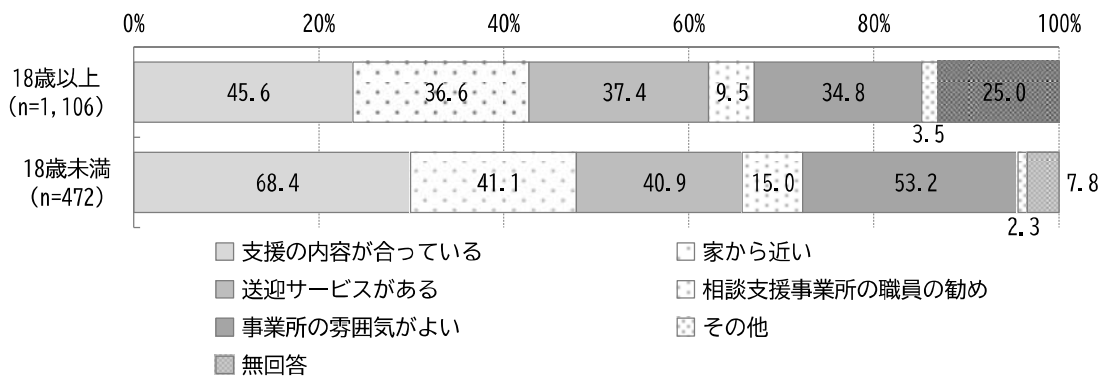
【18歳以上 問48/18歳未満 問44】

18歳以上

「支援の内容が合っている」が45.6%と最も多く、次いで「送迎サービスがある」、「家から近い」、「事業所の雰囲気がよい」の順となっています。

18歳未満

「支援の内容が合っている」が68.4%と最も多く、次いで「事業所の雰囲気がよい」、「家から近い」、「送迎サービスがある」の順となっています。



【手帳種別】

18歳以上

手帳の種別にみると、いずれも「支援の内容が合っている」が最も多くなっています。

18歳未満

手帳の種別にみると、いずれも「支援の内容が合っている」が最も多くなっています。

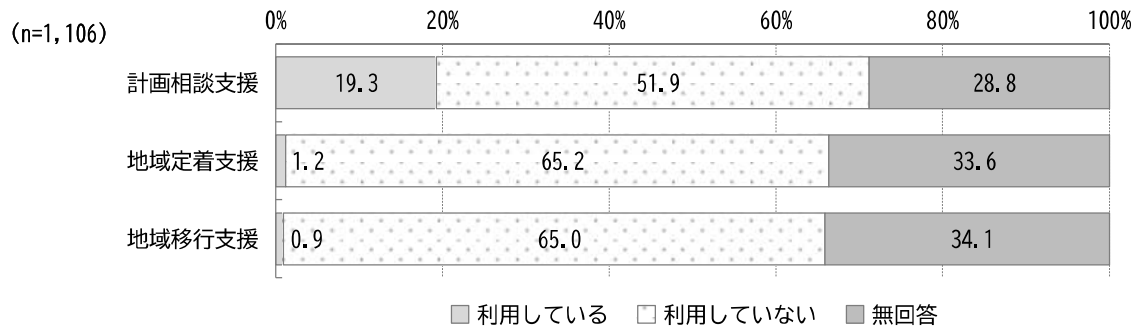
(単位: %)

	回答者数 (件)	支援の内容が合っている	家から近い	送迎サービスがある	相談支援事業所の職員の勧め	事業所の雰囲気がよい	その他	無回答
18歳以上	全体	45.6	36.6	37.4	9.5	34.8	3.5	25.0
	身体	42.7	35.5	41.5	8.2	30.9	3.1	27.3
	療育	52.6	37.9	28.4	13.3	47.4	1.4	19.9
	精神	51.3	46.0	23.8	14.8	45.0	5.8	14.8
18歳未満	全体	68.4	41.1	40.9	15.0	53.2	2.3	7.8
	身体	73.1	51.5	35.8	9.0	52.2	2.2	7.5
	療育	67.6	40.8	45.1	17.7	54.9	2.5	6.5
	精神	78.9	39.5	18.4	7.9	65.8	2.6	-

あなたは、相談支援事業所を利用していますか。また、今後（3年以内）の利用希望についてお伺いします。（それぞれ1つに○） 【18歳以上 問49】

①現在の利用状況

「利用している」と回答した割合は「計画相談支援」が19.3%と最も多く、次いで「地域定着支援」、「地域移行支援」の順となっています。



【手帳種別】

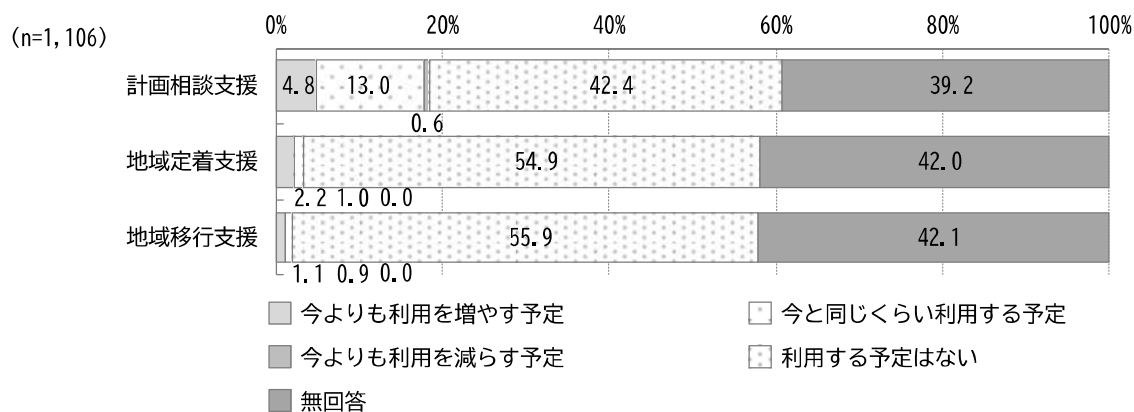
「利用している」と回答した割合を手帳の種別にみると、いずれも「計画相談支援」が最も多くなっています。

(単位：%)

		回答者数 (件)	計画相談支援	地域定着支援	地域移行支援
18歳 以上	全体	1106	19.3	1.2	0.9
	身体	754	13.8	1.1	1.1
	療育	211	46.9	0.9	0.5
	精神	189	23.8	2.1	0.5

②今後の利用予定

「今よりも利用を増やす予定」または「今と同じくらい利用する予定」と回答した割合の合計は「計画相談支援」が17.8%と最も多く、次いで「地域定着支援」、「地域移行支援」の順となっています。



【手帳種別】

「今よりも利用を増やす予定」または「今と同じくらい利用する予定」と回答した割合の合計を手帳の種別にみると、いずれも「計画相談支援」が最も多くなっています。

(単位：%)

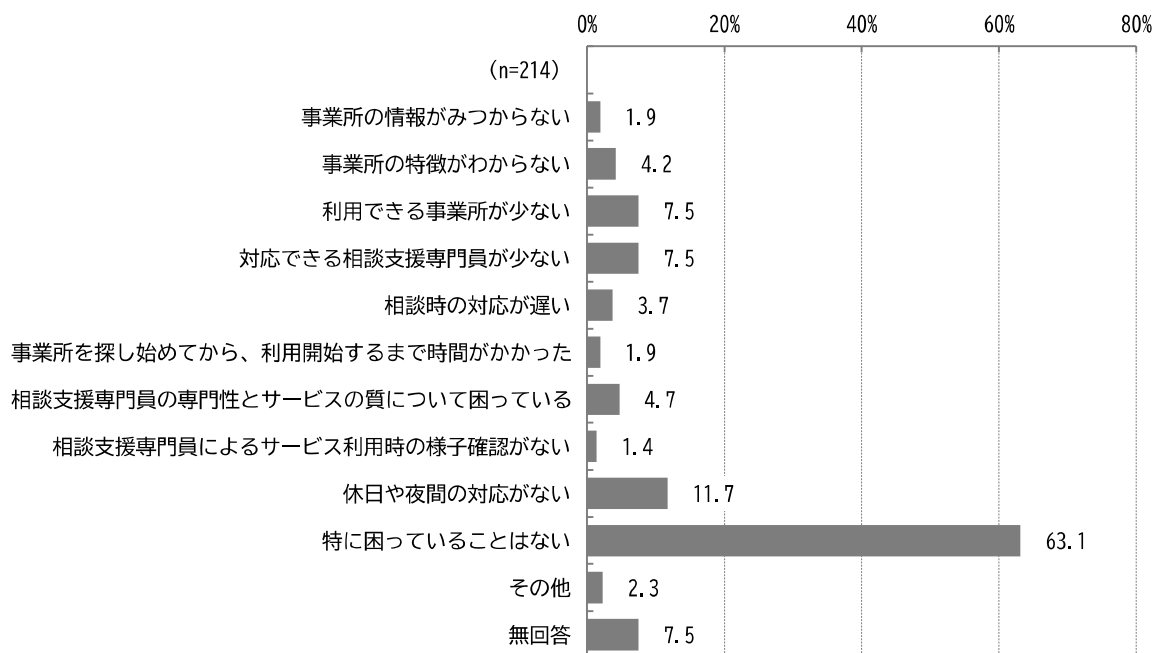
		回答者数 (件)	計画相談支援	地域定着支援	地域移行支援
18歳 以上	全体	1106	17.8	3.2	2.0
	身体	754	12.7	2.7	1.9
	療育	211	39.8	2.3	1.9
	精神	189	26.0	6.3	2.7

【問 49 で「ア 計画相談支援」を「1 現在、利用している」と回答した方にお聞きます。】

あなたは、計画相談支援の利用に関して、困っていることはありますか。(〇は3つまで)

【18歳以上 問50】

「休日や夜間の対応がない」が11.7%と最も多く、次いで、「利用できる事業所が少ない」、「対応できる相談支援専門員が少ない」、「相談支援専門員の専門性とサービスの質について困っている」の順となっており、「特に困っていることはない」は63.1%となっています。



【手帳種別】

困っていることを手帳の種別にみると、身体障害者手帳と精神障害者保健福祉手帳は「休日や夜間の対応がない」、療育手帳は「対応できる相談支援専門員が少ない」が多くなっています。

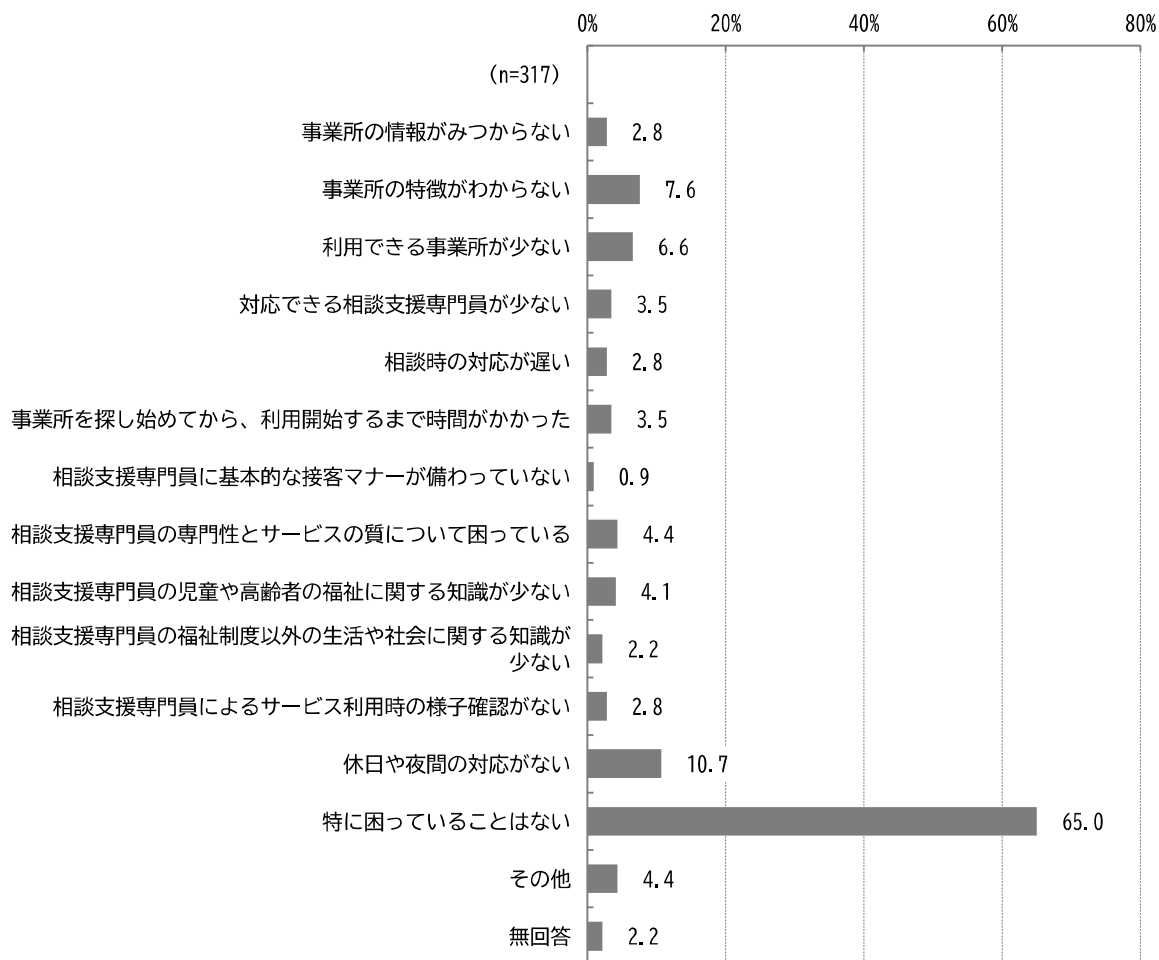
(単位：%)

	回答者数 (件)	事業所の情報がみつからない	事業所の特徴がわからない	利用できる事業所が少ない	対応できる相談支援専門員が少ない	相談時の対応が遅い	事業所を探し始めてから、利用開始するまで時間がかかった	相談支援専門員の専門性とサービスの質について困っている	相談支援専門員によるサービス利用時の様子確認がない	休日や夜間の対応がない	特に困っていることはない	その他	無回答	
		全体	214	1.9	4.2	7.5	7.5	3.7	1.9	4.7	1.4	11.7	63.1	2.3
18歳以上	身体	104	1.9	3.8	5.8	3.8	3.8	2.9	3.8	1.0	10.6	71.2	1.0	5.8
	療育	99	2.0	4.0	5.1	8.1	3.0	1.0	5.1	1.0	7.1	66.7	3.0	6.1
	精神	45	2.2	4.4	13.3	13.3	2.2	2.2	6.7	-	17.8	53.3	4.4	11.1

【問 39 で「カ 相談支援事業所」を「1 現在、利用している」と回答した方にお聞きします。】

あなたは、サービス等利用計画を作成する相談支援事業所の利用に関して困っていることはありますか。(〇は3つまで) 【18歳未満 問40】

「休日や夜間の対応がない」が10.7%と最も多く、次いで「事業所の特徴がわからない」、「利用できる事業所が少ない」、「相談支援事業所の専門性とサービスの質について困っている」の順となっており、「特に困っていることはない」は65.0%となっています。



【手帳種別】

困っていることを手帳の種別にみると、身体障害者手帳と療育手帳は「休日や夜間の対応がない」、精神障害者保健福祉手帳は「事業所の特徴がわからない」が最も多くなっています。

(単位：%)

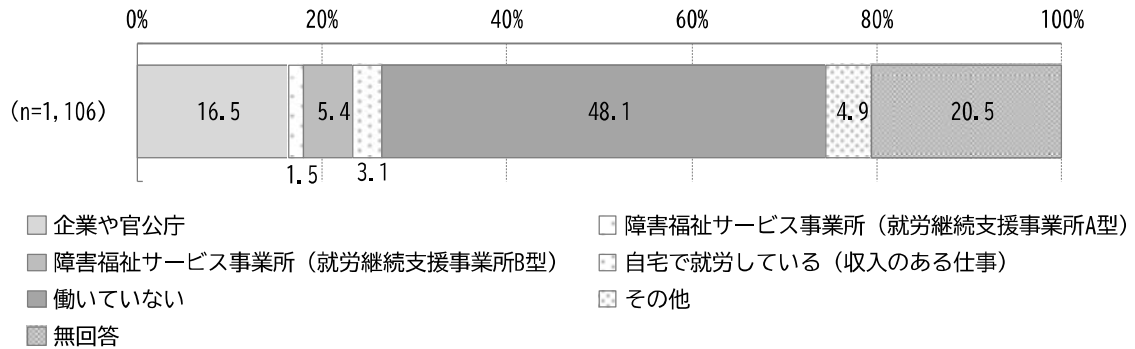
		回答者数(件)	事業所の情報がみつからない	事業所の特徴がわからない	利用できる事業所が少ない	対応できる相談支援専門員が少ない	相談時の対応が遅い	事業所を探し始めてから、利用開始するまで時間がかかった	接客マナーが備わっていない	相談支援専門員に基本的なサービスの質について困っている	相談支援専門員の専門性と福祉に関する知識が少ない	相談支援専門員の児童や高齢者の生活や社会に関する知識が少ない	相談支援専門員の福祉制度以外の利用時の様子確認がない	休日や夜間の対応がない	特に困っていることはない	その他	無回答
18歳未満	全体	317	2.8	7.6	6.6	3.5	2.8	3.5	0.9	4.4	4.1	2.2	2.8	10.7	65.0	4.4	2.2
	身体	94	4.3	5.3	9.6	2.1	3.2	6.4	1.1	2.1	2.1	3.2	2.1	12.8	64.9	2.1	3.2
	療育	256	2.3	7.0	5.9	2.7	3.1	3.5	0.4	5.1	3.9	2.3	2.3	10.2	65.6	4.3	2.3
	精神	17	5.9	17.6	11.8	11.8	-	5.9	5.9	-	-	-	5.9	5.9	58.8	17.6	-

9 就労について

あなたは現在、どこで働いていますか。(〇は1つ)

【18歳以上 問51】

「働いていない」が48.1%と最も多く、次いで「企業や官公庁」、「障害福祉サービス事業所（就労継続支援事業所B型）」、「自宅で就労している（収入のある仕事）」の順となっています。



【手帳種別】

手帳の種別にみると、いずれも「働いていない」が最も多くなっています。

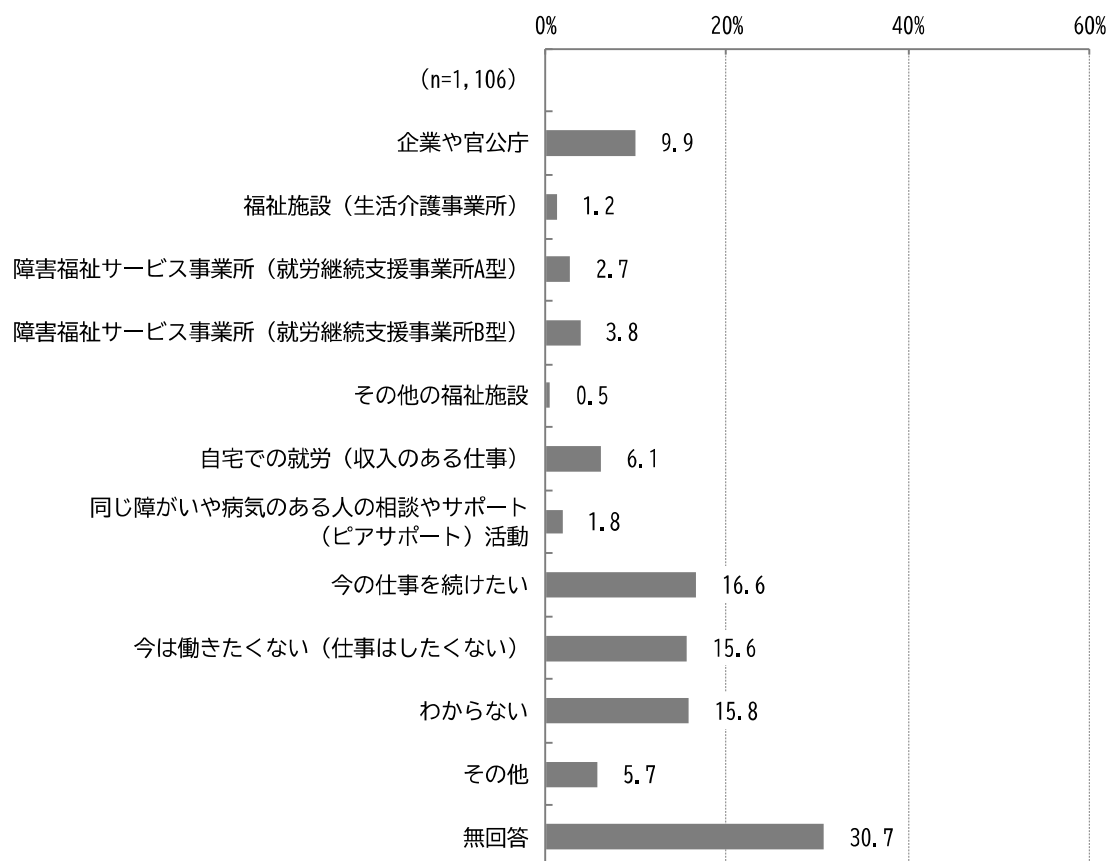
(単位：%)

	回答者数 (件)	企業や官公庁	障害福祉サービス事業所 (就労継続支援事業所A型)	障害福祉サービス事業所 (就労継続支援事業所B型)	自宅で就労している (収入のある仕事)	働いていない	その他	無回答	
		全体	1106	16.5	1.5	5.4	3.1	48.1	4.9
18歳以上	身体	754	13.0	1.1	2.4	2.8	52.0	4.6	24.1
	療育	211	19.4	4.3	19.0	1.9	35.1	6.2	14.2
	精神	189	21.2	3.2	7.4	5.3	49.7	6.9	6.3

これから働きたいまたは通いたいと思う場所はどこですか。(〇は2つまで)

【18歳以上 問52】

「今の仕事を続けたい」が16.6%と最も多く、次いで「今は働きたくない(仕事はしたくない)」、「企業や官公庁」、「自宅での就労(収入のある仕事)」の順となっており、「わからない」は15.8%となっています。



【手帳種別】

手帳の種別にみると、身体障害者手帳は「今は働きたくない(仕事はしたくない)」、療育手帳は「今の仕事を続けたい」、精神障害者保健福祉手帳は「わからない」が最も多くなっています。

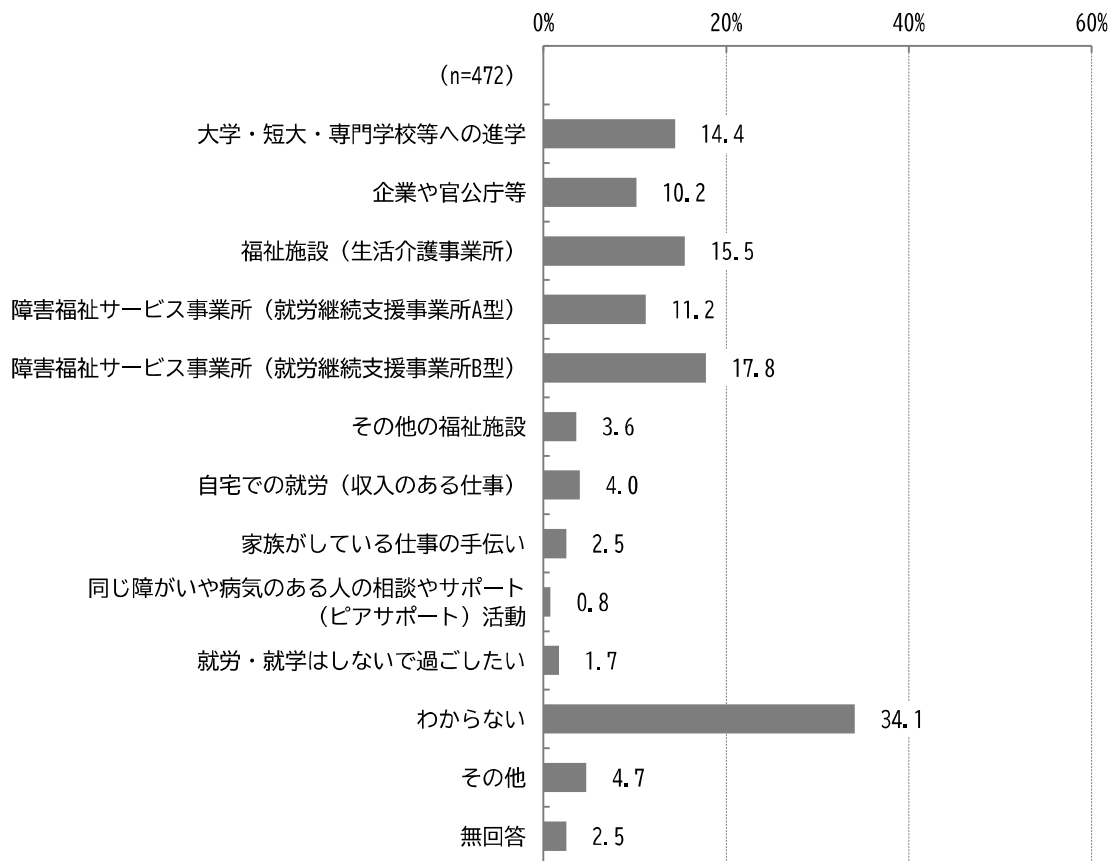
(単位：%)

		回答者数(件)	企業や官公庁	福祉施設(生活介護事業所)	障害福祉サービス事業所(就労継続支援事業所A型)	障害福祉サービス事業所(就労継続支援事業所B型)	その他の福祉施設	自宅での就労(収入のある仕事)	同じ障がいや病気のある人の相談やサポート(ピアサポート)活動	今の仕事を続けたい	今は働きたくない(仕事はしたくない)	わからない	その他	無回答
18歳以上	全体	1106	9.9	1.2	2.7	3.8	0.5	6.1	1.8	16.6	15.6	15.8	5.7	30.7
	身体	754	8.1	0.7	1.6	1.2	0.4	4.1	1.3	13.0	17.8	15.1	6.8	37.4
	療育	211	10.0	4.3	7.1	11.4	0.9	4.7	1.9	28.0	7.6	16.1	3.3	18.5
	精神	189	14.8	0.5	5.8	7.9	-	17.5	4.2	20.6	16.4	21.2	3.2	10.6

あなたは学校卒業後、働きたいまたは通いたいと思う場所はどんなところですか。(○は2つまで)

【18歳未満 問45】

「障害福祉サービス事業所（就労継続支援事業所B型）」が17.8%と最も多く、次いで「福祉施設（生活介護事業所）」、「大学・短大・専門学校等への進学」、「障害福祉サービス事業所（就労継続支援事業所A型）」の順となっており、「わからない」は34.1%となっています。



【手帳種別】

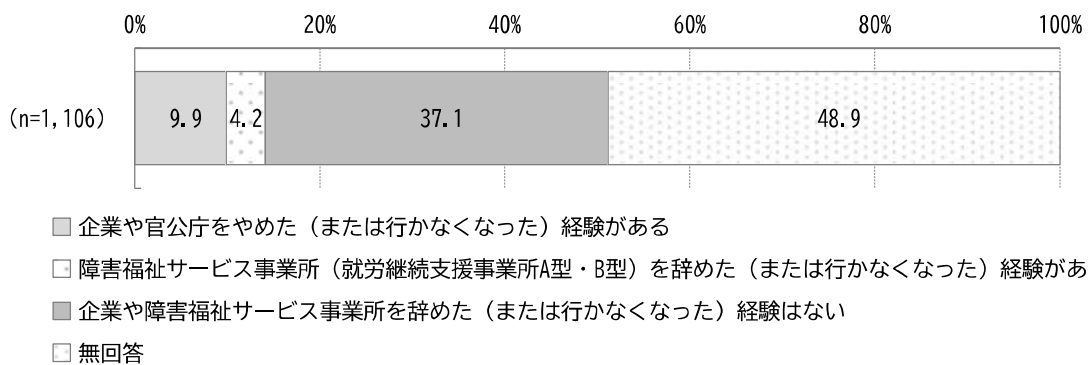
手帳の種別にみると、身体障害者手帳は「福祉施設（生活介護事業所）」、療育手帳は「障害福祉サービス事業所（就労継続支援事業所B型）」、精神障害者保健福祉手帳は「大学・短大・専門学校等への進学」が多くなっています。

(単位：%)

	回答者数(件)	大学・短大・専門学校等への進学	企業や官公庁等	福祉施設（生活介護事業所）	障害福祉サービス事業所（就労継続支援事業所A型）	障害福祉サービス事業所（就労継続支援事業所B型）	その他の福祉施設	自宅での就労（収入のある仕事）	家族がしている仕事の手伝い	同じ障がいや病気のある人の相談やサポート（ピアサポート）活動	就労・就学はしないで過ごしたい	わからない	その他	無回答	
全体	472	14.4	10.2	15.5	11.2	17.8	3.6	4.0	2.5	0.8	1.7	34.1	4.7	2.5	
18歳未満	身体	134	12.7	4.5	31.3	4.5	10.4	3.0	3.7	0.7	3.7	35.8	4.5	1.5	
	療育	355	10.4	11.3	17.5	14.6	21.7	3.9	3.7	3.1	0.8	1.7	33.0	3.9	2.3
	精神	38	31.6	7.9	-	-	7.9	5.3	13.2	2.6	-	5.3	31.6	7.9	2.6

企業や官公庁または障害福祉サービス事業所（就労継続支援事業所 A 型・B 型）を辞めた（または行かなくなった）経験はありますか。（○は 1 つ） 【18 歳以上 問 53】

「企業や障害福祉サービス事業所を辞めた（または行かなくなった）経験はない」が 37.1%と最も多く、次いで「企業や官公庁をやめた（または行かなくなった）経験がある」、「障害福祉サービス事業所（就労継続支援事業所 A 型・B 型）を辞めた（または行かなくなった）経験がある」の順となっています。



【手帳種別】

手帳の種別にみると、いずれも「企業や障害福祉サービス事業所を辞めた（または行かなくなった）経験はない」が最も多くなっています。

(単位：%)

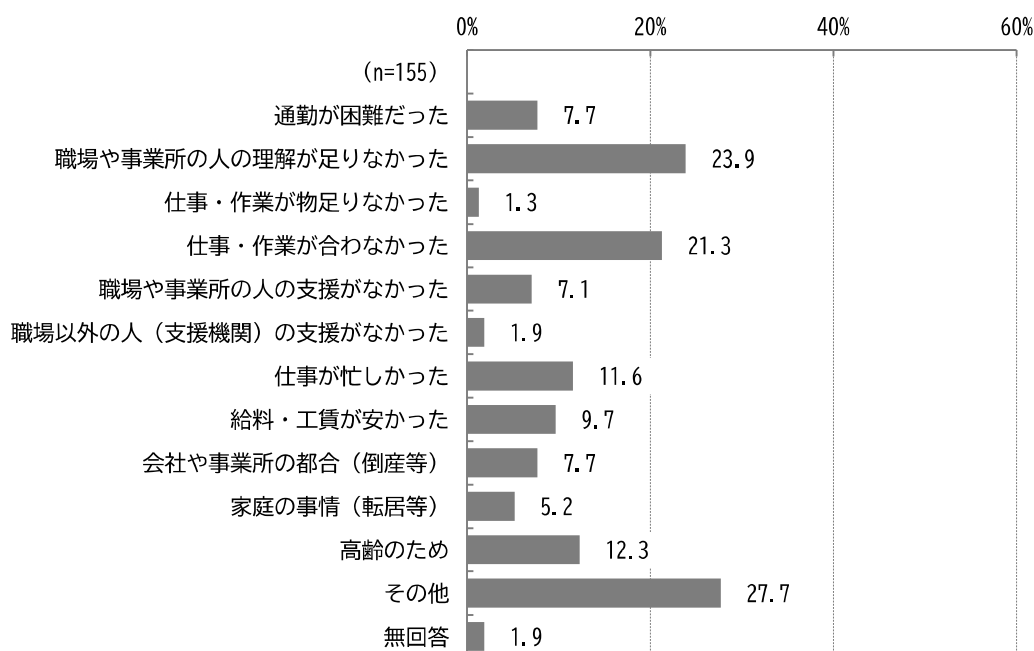
	回答者数 (件)	経験の有無			
		企業や官公庁をやめた（または行かなくなった）経験がある	障害福祉サービス事業所（就労継続支援事業所 A 型・B 型）を辞めた（または行かなくなった）経験がある	企業や障害福祉サービス事業所を辞めた（または行かなくなった）経験はない	無回答
全体	1106	9.9	4.2	37.1	48.9
18歳以上					
身体	754	7.2	1.7	33.8	57.3
療育	211	8.1	9.5	47.9	34.6
精神	189	20.6	10.6	44.4	24.3

【問 53 で「1 企業や官公庁をやめた（または行かなくなった）経験がある」または「2 障害福祉サービス事業所（就労継続支援事業所 A 型・B 型）を辞めた（または行かなくなった）経験がある」と回答した方にお聞きます。】

辞めた（または行かなくなった）主な理由は何ですか。（○は2つまで）

【18 歳以上 問 54】

「職場や事業所の人の理解が足りなかった」が 23.9%と最も多く、次いで「仕事・作業が合わなかった」、「高齢のため」、「仕事が忙しかった」の順となっています。「その他」には、心身不調、定年退職、人間関係などの回答が含まれています。



【手帳種別】

手帳の種別にみると、身体障害者手帳は「高齢のため」、療育手帳と精神障害者保健福祉手帳は「職場や事業所の人の理解が足りなかった」が最も多くなっています。

(単位：%)

		回答者数 (件)	通勤が困難だった	職場や事業所の人の理解が足りなかった	仕事・作業が物足りなかった	仕事・作業が合わなかった	職場や事業所の人の支援がなかった	職場以外の人（支援機関）の支援がなかった	仕事が忙しかった	給料・工賃が安かった	会社や事業所の都合（倒産等）	家庭の事情（転居等）	高齢のため	その他	無回答
18歳以上	全体	155	7.7	23.9	1.3	21.3	7.1	1.9	11.6	9.7	7.7	5.2	12.3	27.7	1.9
	身体	67	6.0	14.9	-	13.4	7.5	1.5	9.0	6.0	10.4	7.5	23.9	25.4	1.5
	療育	37	2.7	37.8	2.7	29.7	10.8	2.7	8.1	8.1	-	2.7	2.7	29.7	2.7
	精神	59	11.9	28.8	1.7	25.4	8.5	1.7	15.3	11.9	6.8	3.4	5.1	32.2	1.7

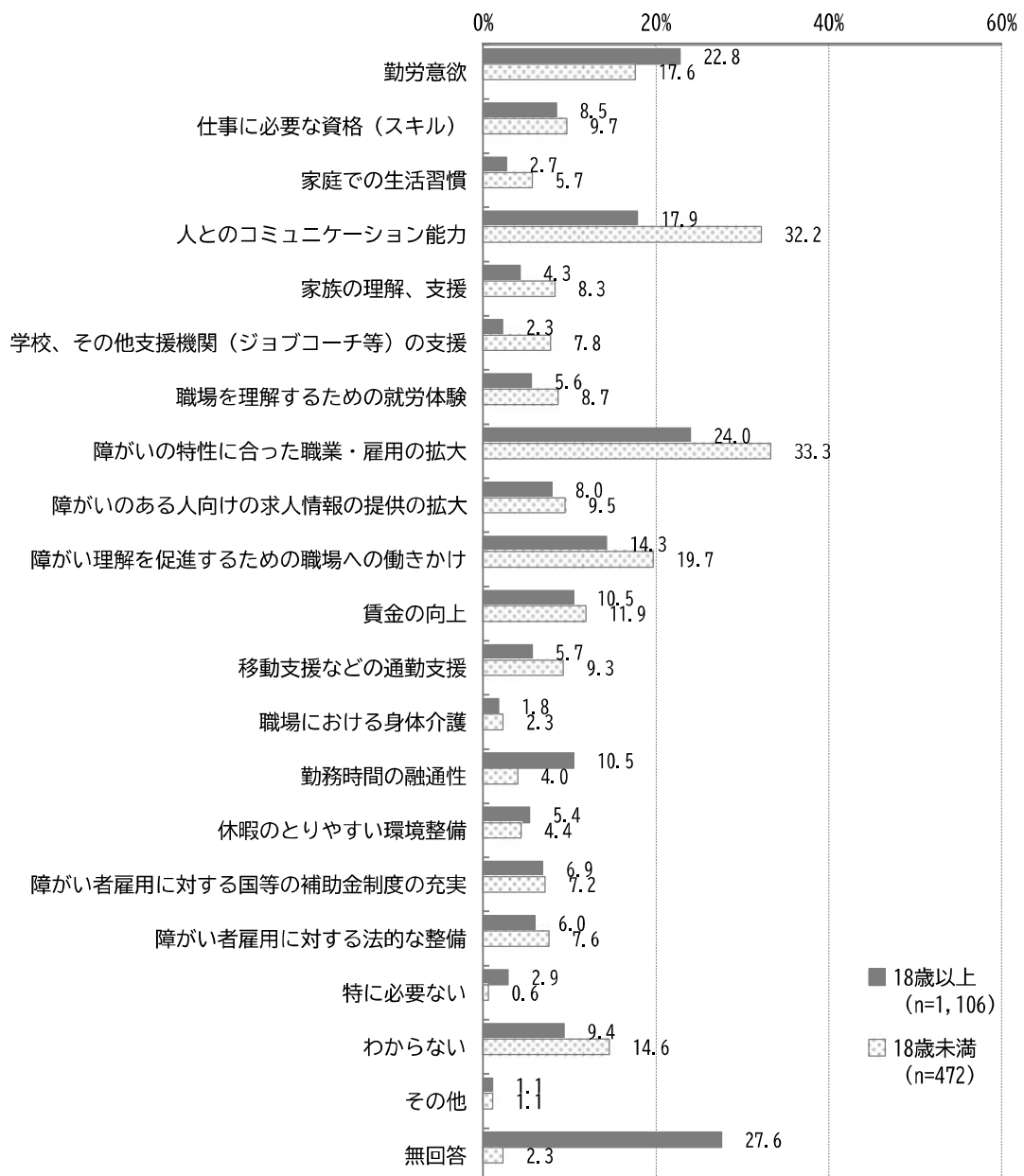
あなたは障がいのある人が企業等で就労するために必要だと思うことはどのようなことですか。(〇は3つまで) 【18歳以上 問55/18歳未満 問46】

18歳以上

「障がいの特性に合った職業・雇用の拡大」が24.0%と最も多く、次いで「勤労意欲」、「人とのコミュニケーション能力」、「障がい理解を促進するための職場への働きかけ」の順となっています。

18歳未満

「障がいの特性に合った職業・雇用の拡大」が33.3%と最も多く、次いで「人とのコミュニケーション能力」、「障がい理解を促進するための職場への働きかけ」、「勤労意欲」の順となっています。



【手帳種別】

18歳以上

手帳の種別にみると、身体障害者手帳は「勤労意欲」、療育手帳は「障がいの特性に合った職業・雇用の拡大」、精神障害者保健福祉手帳は「人とのコミュニケーション能力」が最も多くなっています。

18歳未満

手帳の種別にみると、身体障害者手帳と精神障害者保健福祉手帳は「障がいの特性に合った職業・雇用の拡大」、療育手帳は「人とのコミュニケーション能力」が最も多くなっています。

(単位：%)

		回答者数(件)	勤労意欲	仕事に必要な資格(スキル)	家庭での生活習慣	人とのコミュニケーション能力	家族の理解・支援	学校、その他支援機関(シヨブコーチ等)の支援	職場を理解するための就労体験	障がいの特性に合った職業・雇用の拡大	障がいのある人向けの求人情報の提供の拡大	障がい理解を促進するための職場への働きかけ
18歳以上	全体	1106	22.8	8.5	2.7	17.9	4.3	2.3	5.6	24.0	8.0	14.3
	身体	754	23.9	9.0	2.3	14.9	3.3	1.2	4.0	23.6	6.8	12.7
	療育	211	19.4	4.3	4.3	25.1	5.2	5.7	9.0	28.4	6.2	20.4
	精神	189	24.3	9.5	5.8	25.9	5.8	2.6	9.0	23.3	12.2	17.5
18歳未満	全体	472	17.6	9.7	5.7	32.2	8.3	7.8	8.7	33.3	9.5	19.7
	身体	134	12.7	7.5	6.7	21.6	6.0	6.7	3.7	36.6	8.2	20.9
	療育	355	19.7	8.7	6.8	34.1	8.5	8.5	10.1	33.8	10.4	20.6
	精神	38	21.1	13.2	2.6	34.2	10.5	2.6	7.9	36.8	7.9	21.1
		賃金の向上	移動支援などの通勤支援	職場における身体介護	勤務時間の融通性	休暇のとりやすい環境整備	障がい者雇用に対する国等の補助金制度の充実	障がい者雇用に対する法的な整備	特に必要ない	わからない	その他	無回答
18歳以上	全体	10.5	5.7	1.8	10.5	5.4	6.9	6.0	2.9	9.4	1.1	27.6
	身体	8.8	5.3	2.3	10.1	3.7	6.9	6.5	3.3	9.7	0.5	31.7
	療育	9.5	9.0	3.3	6.6	4.7	5.7	5.7	1.9	8.1	1.9	24.2
	精神	18.0	6.3	0.5	15.3	12.7	7.4	6.3	2.6	6.9	2.6	9.5
18歳未満	全体	11.9	9.3	2.3	4.0	4.4	7.2	7.6	0.6	14.6	1.1	2.3
	身体	9.0	10.4	6.0	3.7	8.2	8.2	8.2	0.7	20.1	0.7	1.5
	療育	11.8	8.5	2.5	3.9	2.0	7.6	8.2	0.6	13.0	1.4	2.3
	精神	13.2	18.4	-	13.2	15.8	-	2.6	-	10.5	5.3	-

10 将来について

あなたは、将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(〇は1つ)

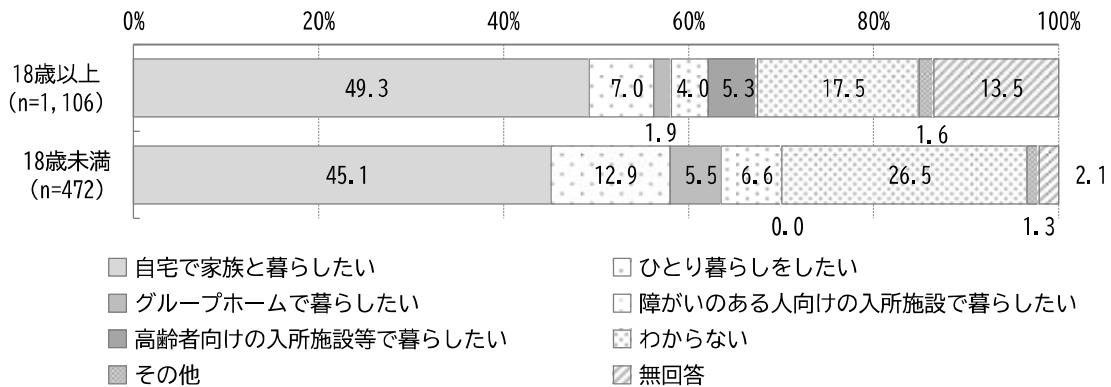
【18歳以上 問56/18歳未満 問47】

18歳以上

「自宅で家族と暮らしたい」が49.3%と最も多く、次いで「ひとり暮らしをしたい」、「高齢者向けの入所施設等で暮らしたい」の順となっており、「わからない」は17.5%となっています。

18歳未満

「自宅で家族と暮らしたい」が45.1%と最も多く、次いで「ひとり暮らしをしたい」、「障がいのある人向けの入所施設で暮らしたい」の順となっており、「わからない」は26.5%となっています。



【手帳種別】

18歳以上

手帳の種別にもと、いずれも「自宅で家族と暮らしたい」が最も多くなっています。

18歳未満

手帳の種別にもと、いずれも「自宅で家族と暮らしたい」が最も多くなっています。

(単位：%)

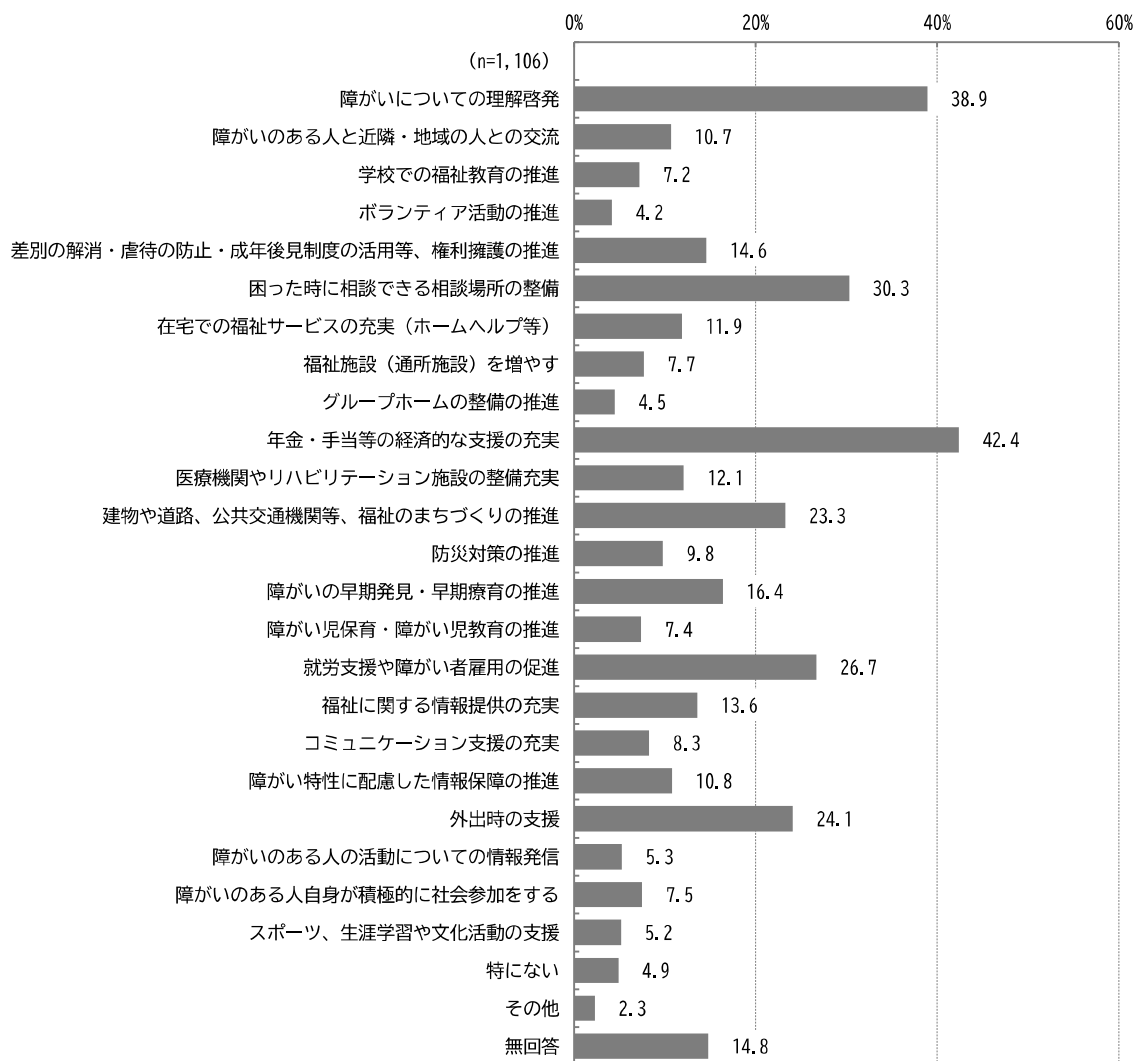
		回答者数 (件)	自宅で家族と暮らしたい	ひとり暮らしをしたい	グループホームで暮らしたい	障がいのある人向けの入所施設で暮らしたい	高齢者向けの入所施設等で暮らしたい	わからない	その他	無回答
18歳以上	全体	1106	49.3	7.0	1.9	4.0	5.3	17.5	1.6	13.5
	身体	754	52.0	4.6	1.3	3.3	6.0	15.8	1.9	15.1
	療育	211	41.7	8.5	3.8	10.4	1.9	23.7	1.4	8.5
	精神	189	42.9	19.6	1.6	2.6	3.7	22.8	1.6	5.3
18歳未満	全体	472	45.1	12.9	5.5	6.6	-	26.5	1.3	2.1
	身体	134	53.7	3.0	3.0	11.9	-	26.9	-	1.5
	療育	355	45.6	11.8	6.5	7.0	-	25.6	1.4	2.0
	精神	38	44.7	21.1	-	2.6	-	31.6	-	-

あなたは、障がいのある人が安心して暮らしていくために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は6つまで) 【18歳以上 問57/18歳未満 問48】

※18歳以上と18歳未満で異なる選択肢が複数あるため、それぞれのグラフ・クロス集計表を掲載します。

18歳以上

「年金・手当等の経済的な支援の充実」が42.4%と最も多く、次いで「障がいについての理解啓発」、「困った時に相談できる相談場所の整備」、「就労支援や障がい者雇用の促進」の順となっています。



【手帳種別】

18歳以上

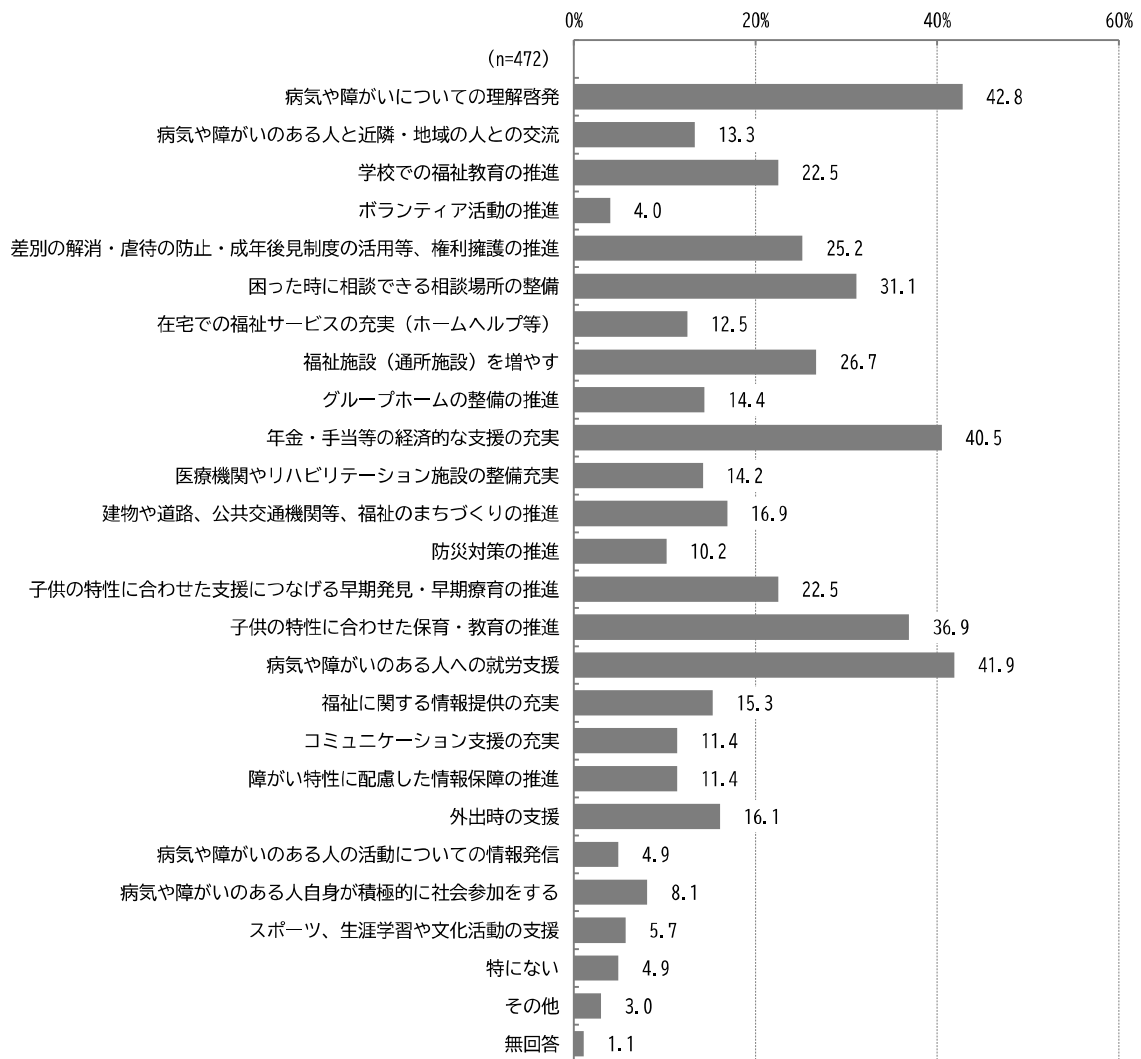
手帳の種別にみると、身体障害者手帳と精神障害者保健福祉手帳は「年金・手当等の経済的な支援の充実」、療育手帳は「障がいについての理解啓発」が最も多くなっています。

(単位：%)

		回答者数(件)	障がいについての理解啓発	障がいのある人と近隣・地域の人との交流	学校での福祉教育の推進	ボランティア活動の推進	差別的解消・虐待の防止・成年後見制度の活用等、権利擁護の推進	困った時に相談できる相談場所の整備	在宅での福祉サービスの充実(ホームヘルプ等)	福祉施設(通所施設)を増やす	グループホームの整備の推進	年金・手当等の経済的な支援の充実	医療機関やリハビリテーション施設の整備充実	建物や道路、公共交通機関等、福祉のまちづくりの推進	防災対策の推進
18歳以上	全体	1106	38.9	10.7	7.2	4.2	14.6	30.3	11.9	7.7	4.5	42.4	12.1	23.3	9.8
	身体	754	35.0	10.3	6.9	4.6	11.1	27.6	13.5	6.2	3.1	40.1	13.9	26.1	10.1
	療育	211	41.7	15.2	8.1	3.3	25.1	33.2	7.1	15.2	12.3	36.5	10.4	15.2	6.6
	精神	189	49.7	10.6	8.5	3.7	20.1	40.2	8.5	7.9	2.1	57.1	12.2	17.5	9.5
		障がいの早期発見・早期療育の推進	障がい児保育・障がい児教育の推進	就労支援や障がい者雇用の促進	福祉に関する情報提供の充実	コミュニケーション支援の充実	障がい特性に配慮した情報保障の推進	外出時の支援	障がいのある人の活動についての情報発信	障がいのある人自身が積極的に社会参加をする	スポーツ、生涯学習や文化活動の支援	特になし	その他	無回答	
18歳以上	全体	16.4	7.4	26.7	13.6	8.3	10.8	24.1	5.3	7.5	5.2	4.9	2.3	14.8	
	身体	14.2	6.9	23.6	13.4	6.9	10.6	25.9	5.8	6.9	5.0	4.6	1.7	17.1	
	療育	16.1	10.0	27.0	12.3	12.8	10.9	22.7	7.6	5.7	4.7	4.3	1.9	12.8	
	精神	24.3	7.4	40.2	16.9	14.3	14.8	15.3	5.3	12.2	6.3	5.8	3.2	5.8	

18歳未満

「病気や障がいについての理解啓発」が42.8%と最も多く、次いで「病気や障がいがある人への就労支援」、「年金・手当等の経済的な支援の充実」、「子供の特性に合わせた保育・教育の推進」の順となっています。



【手帳種別】

18歳未満

手帳の種別にみると、身体障害者手帳は「福祉施設（通所施設）を増やす」、療育手帳は「病気や障がいについての理解啓発」、精神障害者保健福祉手帳は「病気や障がいのある人への就労支援」が最も多くなっています。

(単位：%)

		回答者数(件)	病気や障がいについての理解啓発	病気や障がいのある人と近隣・地域の人の交流	学校での福祉教育の推進	ボランティア活動の推進	差別的解消・虐待の防止・成年後見制度の活用等 権利擁護の推進	困った時に相談できる相談場所の整備	在宅での福祉サービスの充実(ホームヘルプ等)	福祉施設(通所施設)を増やす	グループホームの整備の推進	年金・手当等の経済的な支援の充実	医療機関やリハビリテーション施設の整備充実	建物や道路、公共交通機関等、福祉のまちづくりの推進	防災対策の推進
18歳未満	全体	472	42.8	13.3	22.5	4.0	25.2	31.1	12.5	26.7	14.4	40.5	14.2	16.9	10.2
	身体	754	40.3	13.4	20.1	3.7	19.4	26.1	24.6	43.3	9.0	41.0	28.4	27.6	13.4
	療育	211	45.4	14.4	23.7	4.8	28.5	33.2	11.3	27.9	17.5	43.7	12.7	14.9	10.7
	精神	189	36.8	7.9	15.8	2.6	13.2	36.8	2.6	13.2	5.3	23.7	13.2	10.5	2.6
		子供の特性に合わせた支援につなげる早期発見・早期療育の推進	子供の特性に合わせた保育・教育の推進	病気や障がいのある人への就労支援	福祉に関する情報提供の充実	コミュニケーション支援の充実	障がい特性に配慮した情報保障の推進	外出時の支援	病気や障がいのある人の活動についての情報発信	病気や障がいのある人自身が積極的に社会参加をする	スポーツ、生涯学習や文化活動の支援	特にない	その他	無回答	
18歳未満	全体	22.5	36.9	41.9	15.3	11.4	11.4	16.1	4.9	8.1	5.7	4.9	3.0	1.1	
	身体	17.9	32.1	37.3	23.1	5.2	6.7	20.1	3.0	7.5	2.2	0.7	5.2	0.7	
	療育	23.9	37.7	43.9	13.8	12.7	12.4	14.4	4.8	7.9	6.5	3.7	3.4	0.3	
	精神	23.7	39.5	47.4	23.7	13.2	23.7	15.8	7.9	10.5	5.3	10.5	5.3	2.6	

11 浜松市の障がい福祉施策について

あなたは、浜松市の障がい福祉の施策全般について、どのように感じていますか。(○は1つ)

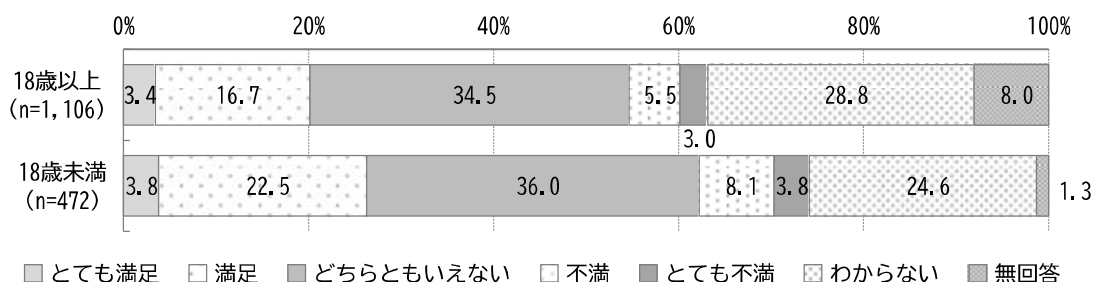
【18歳以上 問58/18歳未満 問49】

18歳以上

「どちらともいえない」が34.5%と最も多く、次いで「満足」、「不満」、「とても満足」の順となっており、「わからない」は28.8%となっています。「とても満足」と「満足」の合計は20.1%、「不満」と「とても不満」の合計は8.5%で、満足と回答した人の方が多くなっています。

18歳未満

「どちらともいえない」が36.0%と最も多く、次いで「満足」、「不満」、「とても満足」、「とても不満」の順となっており、「わからない」は24.6%となっています。「とても満足」と「満足」の合計は26.3%、「不満」と「とても不満」の合計は11.9%で、満足と回答した人の方が多くなっています。



【手帳種別】

18歳以上

手帳の種別にみると、いずれも「どちらともいえない」が最も多くなっています。

18歳未満

手帳の種別にみると、身体障害者手帳と療育手帳は「どちらともいえない」、精神障害者保健福祉手帳は「わからない」が最も多くなっています。

(単位: %)

		合計	とても満足	満足	どちらともいえない	不満	とても不満	わからない	無回答
18歳以上	全体	1106	3.4	16.7	34.5	5.5	3.0	28.8	8.0
	身体	754	3.6	17.8	32.9	5.3	2.3	29.3	8.9
	療育	211	2.4	16.6	37.9	6.6	3.3	28.0	5.2
	精神	189	4.8	14.3	39.7	6.9	6.3	26.5	1.6
18歳未満	全体	472	3.8	22.5	36.0	8.1	3.8	24.6	1.3
	身体	134	3.0	23.9	35.8	15.7	0.7	20.1	0.7
	療育	355	3.4	24.8	36.3	7.6	5.1	21.7	1.1
	精神	38	5.3	13.2	28.9	7.9	-	44.7	-

浜松市が、今後、障がいのある人への支援や施策等を推進していくうえでのご意見等がございましたら、ご自由にお書きください。 【18歳以上 問59/18歳未満 問50】

18歳以上

合計で275件の意見があり、サービス、移動支援、就労支援、経済的支援、心配事・将来不安に関する意見が多く挙げられました。

項目	件数	意見の概要	
サービスについて	29	<ul style="list-style-type: none"> ○支援体制の充実要望(ケアマネジャーのような相談支援者の配置、訪問サービスの拡充、早期の医療介入を可能とする制度の整備) ○将来への不安解消(一人暮らしや親なき後の支援体制整備、就労支援の充実、高齢化に対応したサービスの拡充) 	<ul style="list-style-type: none"> ○障がい者への理解促進と利便性向上(障がいがあることを示すマークやストラップの導入、交通機関のバリアフリー化と運賃支援、障害者手帳の利用機会の拡大)
移動支援について	27	<ul style="list-style-type: none"> ○移動手段に関する課題(タクシー券の廃止や金額不足により、通院や買い物などの外出が困難、バスの本数減少や値上げにより公共交通機関の利用が不便、自動車運転が困難な場合の代替移動手段の不足) ○将来への不安(運転できなくなった際の移動手段、社会参加の制限) 	<ul style="list-style-type: none"> ○支援制度への要望(タクシー券制度の復活や拡充、自動車税減免とタクシー券を併用可能に、移動支援サービスの拡充(通所施設への送迎含む)、ガソリン代補助の増額)
就労支援について	21	<ul style="list-style-type: none"> ○雇用機会の拡大と賃金の向上(企業での障がい者雇用の拡大、在宅勤務やフレックス制など柔軟な働き方の導入、B型事業所の工賃が低すぎる) ○職場環境の改善(企業側の障がいへの理解と適切な配慮の必要性、管理職の意識改革、職場体験の機会提供) 	<ul style="list-style-type: none"> ○支援体制の充実(経済面での支援制度、障がい特性に合った就労支援、情報交換の場の提供、精神面でのサポート) ○その他の課題(障がい者同士の待遇格差、職場での積極性を育む支援、視覚障がい者への就労支援の強化)
経済的支援について	19	<ul style="list-style-type: none"> ○経済的支援の充実(物価高騰に対応した支援の拡充、障害者年金の給付額の引き上げ、医療費助成制度の維持・拡充) ○支援対象の拡大(精神障害3級への支援拡大、難病助成の収入制限撤廃、定年後の障害者年金継続) 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活実態に即した制度設計(非課税基準額の引き上げ、医療的ケア児童の親の就労支援、通院時の移動支援の拡充)
心配事・将来不安について	17	<ul style="list-style-type: none"> ○親の高齢化に関する不安(老老介護となり、書類作成や介護の負担が増大、親自身の体調が悪化し子の世話が困難に、老化の進行が心配) 	<ul style="list-style-type: none"> ○親なき後の生活への不安(施設入所や生活支援の確保が困難、知的障がい者の自立した手続きや判断が困難、一人暮らしになった際の生活維持への不安)
情報について	16	<ul style="list-style-type: none"> ○情報提供に関する課題(福祉サービスや制度に関する情報が少なく、どこで情報を得られるか分かりにくい、制度やサービスが複雑で理解しづらい、自分から申請しないとサービスを受けられない) 	<ul style="list-style-type: none"> ○支援体制に関する課題(窓口での対応が不十分で、自分で調べるよう言われることがある、手続きが煩雑で時間がかかる、成年後見人制度など、特定の制度については利用のハードルが高い)

項目	件数	意見の概要	
共生社会・障がい理解について	16	○障がい者への理解と支援の充実(障がいの早期発見・早期療育と温かい心遣いの必要性、障がいの症状や特性に関する具体的な理解の促進、多様性に対応できる社会づくりと支援策の充実)	○共生社会の実現に向けた取り組み(子どもの頃から障がい者との関わりを通じた相互理解の促進、障がい者が活躍できる場の創出と就労支援の改善、地域社会での支え合いと交流機会の創出)
福祉施設について	11	○入所施設の不足(特に医療的ケア児向け・リハビリ施設、入所費用が高額で年金生活者には負担、ショートステイやグループホームの空きが少なく、利用が困難) ○家族の負担と将来不安(施設不足で家族の介護負担が大きい、将来の介護への不安が強い、送迎など日常的な負担が大きい)	○施設の質的課題(障がい者の就労施設(特にA型事業所)が減少、トイレ設備や空調など、施設の快適性が不十分、障がいの種類や程度に応じた適切な施設が少ない(特に精神障がい、自閉症向け))
手続きについて	8	○手続き・書類に関する課題(マイナカードと手帳の統合の要望、書類のお役所言葉が分かりにくく、返信用封筒が入っていない、更新手続きが頻繁で負担が大きい)	○窓口サービスの改善要望(福祉課窓口の待ち時間が長く、番号札システムの導入希望、福祉用具製作の申請から完了までの時間短縮の要望)
バリアフリーについて	8	○道路環境の改善要望(歩道の段差解消やバリアフリー化が必要、自転車専用道路の設置、音響信号機の設置と街灯の整備)	○施設のバリアフリー対応(バリアフリートイレ・洋式トイレの拡充、店舗やビルのスロープ設置)
ニーズ把握について	7	○ニーズの把握(障がい者自身による福祉サービスの評価と意見聴取の実施、当事者の困りごとやニーズの把握)	○施策・サービスへの反映(アンケート結果の確実な施策反映と早期実践、個々の事情に応じたきめ細やかな対応の要望)
相談支援について	6	○相談体制の充実(24時間365日対応の相談窓口の設置、緊急時の付き添い支援の実施、医療機関と市の連携による迅速な支援体制の構築)	○相談環境の改善(気軽に相談できる雰囲気づくり、同じ障がいを持つ人々が集まれる交流の場の提供、障がいの特性に応じた専門相談員の配置)
認定について	6	○認定の課題(同じ障がいでも受診病院により等級が異なる、介護認定が担当者によって大きく異なる)	○柔軟な対応の必要性(障害等級のみで判断され、実態に即していない、働けない状態でも支援を受けられない、柔軟な対応を希望)
交流について	4	○当事者同士の交流・情報共有(同じ障がいを持つ人々との交流の場の創設、災害時の対応や将来の生活に関する情報交換、障がい者同士でしか分かり合えないことの共有)	
処遇改善について	4	○福祉介護現場の待遇改善(職員の賃金水準の引き上げ、人員の増員、職員への教育の充実)	
その他	76		

18歳未満

合計で165件の意見があり、サービスの供給量、経済的支援、手続き、教育・療育、情報に関する意見が多く挙げられました。

項目	件数	意見の概要	
サービスの供給量について	22	<ul style="list-style-type: none"> ○放課後等デイサービスの課題(施設数の不足で利用希望者が多く断られる、支援学校に通う重度障害児が利用できず比較的軽度な児童が利用している、送迎付きの施設が少なく、専門性の高い職員が不足) ○入所施設の課題(医療ケア児を受け入れる施設が少ない、ショートステイの受け入れ先が限られ、緊急時の対応が困難、将来的なグループホームの不足への不安) 	<ul style="list-style-type: none"> ○卒業後の進路に関する課題(生活介護や就労支援施設の受け入れ枠が不足、高等部を中退して生活介護の空きを待つケースの発生、重度障害者の進路の選択肢が限られている)
経済的支援について	17	<ul style="list-style-type: none"> ○所得制限の影響(所得制限により福祉サービスや手当が受けられず、経済的負担が大きい、所得制限により共働きで収入を増やしても実質的な収入が増えない) 	<ul style="list-style-type: none"> ○養育の費用(障がい児の養育に通院、オムツ、療育用品など多額の費用がかかる)
手続きについて	14	<ul style="list-style-type: none"> ○手続きに関する課題(申請から決定までの時間が長い(特に補装具や日常生活用具)、手続き場所が限られ、遠方からの来所が負担、書類や制度の説明が分かりにくく、利用できるサービスの情報が得られにくい) 	<ul style="list-style-type: none"> ○手続きの改善(各家庭の状況に応じた平等な評価と助成、手続きのオンライン化や休日対応の検討)
教育・療育について	12	<ul style="list-style-type: none"> ○支援体制の課題(教員1人あたりの生徒数が多く個別対応が困難、障がい特性への理解不足による不適切な指導、外国人児童生徒の増加に対する体制が不十分) ○求められる対策(早期からの適切な支援と療育体制の確立、教職員の増員と多様性に対応できる体制づくり、進路情報の充実と将来の自立に向けた支援強化) 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育環境の改善(特別支援学校を地域の学校に統合してインクルーシブ教育を推進、支援学級担任の専門性向上と適切な研修体制の整備、外部専門家による授業内容のチェック体制の構築)
情報について	12	<ul style="list-style-type: none"> ○情報提供の現状と評価(浜松市では早期療育から発達児童支援まで、情報提供と支援が充実、福祉サービスの情報が分かりにくく、自分から探さないと得られない、進学と就労に関する情報が不足している) 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報提供に関する要望(年齢や障害の種類に応じた継続的な情報提供が必要)
サービスの課題について	11	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉サービスの課題(サービスは一見充実しているが、実際は「できない」「ない」と断られることが多い、職員の対応や知識にばらつきがあり、サービスの質が不安定、医療的ケアが必要な場合の受け入れ先が極めて少ない) 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育環境の問題(インクルーシブ教育は障害のある子どもの負担が大きく、行事参加も困難、支援級の増加により同じような障がいを持つ同世代との交流機会が減少、集団生活に困難がある子どもへの柔軟な対応や環境整備が不十分)
就労支援について	7	<ul style="list-style-type: none"> ○就労支援の課題(企業が求める人材のハードルが高く就職が困難、福祉施設までの距離や預かり時間の制約により保護者の就労機会が制限、障がい者の就職先に関する情報が不足) 	<ul style="list-style-type: none"> ○将来不安の解消(卒業後の就労先の確保)

項目	件数	意見の概要
福祉行政 について	6	<p>○福祉サービスの良い点(保健師の対応が丁寧で相談やアフターケアが充実、関係者の対応が優しく丁寧)</p> <p>○福祉サービスの課題(市役所の説明と現場の実態に乖離がある、相談支援事業所や福祉施設がパンク状態で余裕がない、重度障害者を受け入れる施設が不足)</p> <p>○改善への要望(現場の状況を把握した上で適切なアドバイスの提供、障害者とその家族の立場に立った施策の推進、担当職員の異動を減らし継続的なサポートの実現)</p>
共生社会・ 障がい理解 について	6	<p>○教育・福祉の課題(幼児期から健常者と共に過ごす機会を増やし、インクルーシブ教育を推進する必要、「特別支援学校」か「支援級」の二択でなく、中間的な選択肢が必要、私立園での障がいへの理解や対応が不十分)</p> <p>○社会的な課題(障がいに関する知識や理解を持つ人材が不足、学校や企業での合理的配慮が不十分)</p>
移動支援 について	5	<p>○移動・交通に関する課題(タクシー券やバス券の再開を希望(特に50歳以上)、公共交通機関が乏しく、特別支援学校への通学が困難)</p> <p>○支援サービスへの要望(障がい者や高齢者が自家用車以外でも生活できる交通手段が必要、呼吸器を付けた子どもの送迎サービスの充実)</p>
サービスの 利用希望について	5	<p>○一時的な預け先の充実(幼稚園入園前の一時預かり施設の増設、月1回程度の単発利用可能な施設の整備、休日に預けられる施設の充実)</p> <p>○安全・支援体制の強化(知的障がい児の所在確認システムの整備、自ら相談できない人向けの支援体制の構築、入浴、散髪、歯のケアなどの生活支援サービスの提供)</p>
将来不安について	5	<p>○障がい児の将来に対する不安(親が高齢になった後の子の生活や支援体制が不安、金銭面や身体的ケアの継続性の心配、子の成長に伴う自立可能性の見通しが立たない)</p> <p>○求められる対策(子どもへの直接的な支援体制の整備、親の不安や心配に寄り添える相談体制の確立)</p>
外出先について	5	<p>○外出・社会参加の課題(遊園地や水族館等が障がい者に利用しづらい、成長に応じたおむつ交換設備がなく外出が困難、一般イベントへの参加に不安があり、専用イベントも少ない)</p> <p>○必要な支援・改善点(障がい者が安心して利用できる遊び場の整備、スポーツ活動への支援強化(交通費補助等))</p>
バリアフリー について	4	<p>○車いす用駐車区画の課題(車椅子駐車場の不足や健常者による不適切な利用)</p> <p>○公共施設のバリアフリー化(トイレ、公園、駅などの推進)</p>
その他	34	

浜松市障がい福祉に関するアンケート調査報告書

令和8年3月発行

編集・発行

浜松市役所 健康福祉部 障害保健福祉課

〒430-8652 静岡県浜松市中央区元城町103番地の2

電話：053-457-2034

FAX：053-457-2630